

# 目 次

---

|                                  |    |
|----------------------------------|----|
| 提言の要旨                            | 1  |
| はじめに                             | 2  |
| 第1章 高齢化と介護保険の現状                  | 2  |
| 1. 日本全体に見る高齢化の現状                 | 2  |
| 2. 大田原市に見る高齢化の現状と課題              | 3  |
| 3. 介護費用・保険料の推移と課題                | 5  |
| 第2章 団塊世代の意識と課題                   | 6  |
| 第3章 社会参加促進の取組事例と課題               | 7  |
| 1. 高齢者ほほえみセンター（介護予防拠点施設：栃木県大田原市） | 7  |
| 2. ボランティアポイント制度                  | 8  |
| 第4章 団塊世代の社会参加への提案                | 9  |
| 1. セカンドライフ応援式条例の制定               | 10 |
| 2. セカンドライフ応援式条例（第4条）の式典・行事の提案    | 11 |
| 3. 地域ボランティアポイント制度の導入             | 11 |
| おわりに                             | 13 |

# 提言の要旨

## ほほえみセカンドライフのために！

新たな第一歩を踏み出す団塊の世代へ

|           |  |
|-----------|--|
| <b>背景</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>○ <b>超高齢社会</b> ⇒ 介護保険給付費の増加</li><li>○ <b>団塊の世代の増加</b> ⇒ 社会との関わりが希薄</li></ul> <p>高齢者が人としての尊厳と自尊心を保ち、生涯にわたり現役生活を実践し、いつまでも心身共に現役で豊かな人生を過ごすためには？</p> |
| <b>現状</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 今後、戦後ベビーブームの世代、いわゆる「団塊の世代」が65歳に到達し、かつて経験したことのない、超高齢社会を迎える</li><li>○ 要支援・要介護認定者数の増加に伴う介護保険給付の急増が見込まれる</li><li>○ 「生涯現役でいたい」と思う人の割合が高い</li></ul>  |
| <b>課題</b> | <ul style="list-style-type: none"><li>○ 日本の地域社会において、退職後の方の地域貢献意欲に応える仕組みがまだ未成熟であるため、早急にこれを整備する必要がある</li></ul>   |

### 提言

- ① 団塊の世代に生きがいをもってもらう方法の提言
- ② 元気な団塊の世代に地域ボランティアを実施してもらう方法の提言

**施策①**  
セカンドライフ応援  
式条例の制定

**施策②**  
条例に定める式典  
開催、1日ボラン  
ティア体験の実施

**施策③**  
地域ボランティア  
ポイント制度の導  
入

### 効果

- ① 団塊の世代の社会参加により、要介護状態への移行が遅延
- ② 介護ボランティアが増加 ③ 介護保険給付費が減少